

# 第2次刈谷市多文化共生推進計画【概要版】

にほんごばん  
やさしい日本語版

刈谷市の『多文化共生を進める新しい計画』を簡単に説明にします。

## <めざすこと>

この計画は、国の新しい方針や、外国人が増えていることなどを考えて、刈谷市が“誰もが大切にされ、交流したり、支え合ったりするまち”になることをめざします。

## <大切にしたいこと>

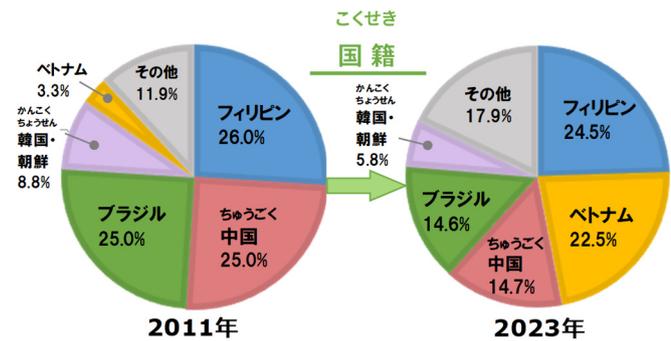
- ・みんなが大切にされること。
- ・生活に必要なものが公平に提供されること。
- ・いろいろな人や団体が協力して、互いに助け合うこと。

## <押さえておくこと>

- ① 外国人が今後も増えていくこと
- ② 外国人の国や文化がいろいろになっていること

● 外国人の変化

ねん年	2011	2023
じんこう人口	3,804	5,476
わりあい割合	2.61%	3.58%



- ③ 子どもからお年寄りまで様々な年齢の外国人の人たちを支える必要があること



- ④ 世界の目標であるSDGsも進めること



## <刈谷市が行う予定のこと>

4つの大きな目標（12の小さな目標）ごとに、全部で30の＜取り組み＞を行っていく予定です。

詳しくは、次のページに表すとおりです。

おお もくひょう **大きな目標 1** がいこくじん ことば もんだい へ **外国人の言葉の問題を減らす**

ことば ぶんか が ちが いて、どんな国の人にも安心して暮らせるように、わかりやすい日本語で話すことを大切にします。外国の人が日本語をもっと上手に話せるように支えます。大事な情報もしっかり伝えられるようにします。

とく **<取り組み>**

- 01 日本語を教える教室を開く
- 02 いろいろな団体が 行う日本語の教室の知らせを広める
- 03 日本語を教える人を育てる
- 04 職員にやさしい日本語を教える研修をする
- 05 市の人々にやさしい日本語を知ってもらう
- 06 出す情報をいくつかの言語で伝える
- 07 市役所や他の施設で通訳の手伝いをする
- 08 行政のサービスをいくつかの言語で行えるように整える



すうじ もくひょう **数字の目標** <2022年→2033年>

- 日本語で困ったときという設問の選択肢のうち「A:市役所や学校からの文書を読むとき」・「B:市役所の窓口で」と回答した外国人市民の割合：A 33.9%→**25.0%**、B 26.2%→**15.0%**

おお もくひょう **大きな目標 2** がいこくじん せいかつ ささ **外国人の生活を支える**

外国の人が困らないように、相談できる場所を作ります。長く住む人に合った情報を提供します。また、災害や健康の危険に関する情報も整えます。

とく **<取り組み>**

- 09 外国の人の相談をよくする
- 10 いろいろな所と協力して、相談できるようにする
- 11 子どもや子育てする家族を助ける
- 12 学ぶことや仕事について助ける
- 13 健康や福祉、介護について助ける
- 14 日本での生活に早く慣れるように助ける
- 15 医者でのいろいろな言語での対応
- 16 災害時の外国の人への対応



すうじ もくひょう **数字の目標** <2022年→2033年>

- 子育てや教育で困ったことという設問の選択肢のうち「困っていることはない」と回答した外国人市民の割合：23.7%→**35.0%**
- 地震などに対して「何らかの備えをしている」と回答した外国人市民の割合：75.9%→**80.0%**

おお もくひょう **大きな目標3** たぶんか きょういく こうりゅう すす **多文化についての教育と交流を進める**

ちいき がいこく ひと す かんが がいこく ひと にほん ひと たが りかい たいせつ 地域に外国の人がたくさん住むようになることを考 えて、外国の人と日本の人がお互いをよく理解することが大切で す。互いに心配する気持ちをなくすために、地域や学校、公の場所で、国際理解の勉強やいろいろな国の人と 交流する機会を増やします。

**<取り組み>**

- 17 学校で国際理解の学びを進める
- 18 地域で国際理解の学びを進める
- 19 いろいろな文化を受け入れることの大切さを知ってもらう
- 20 地域でいろいろな国の人と交流を増やす
- 21 国際プラザでいろいろな国の人との交流イベントをする
- 22 カナダの友達のまちとの交流
- 23 刈谷市のすばらしい取り組みを知らせる
- 24 他の国にも役立つことをする



すうじ もくひょう **数字の目標** <2022年→2033年>

- 「地域の日本人と既に十分に交流している」と回答した外国人市民の割合：23.7%→**35.0%**
- 外国人市民が増えることに対して「不安に思うことはない」と回答した日本人市民の割合：13.5%→**25.0%**

おお もくひょう **大きな目標4** さまざま ひと きょうりよく とく **様々な人と協力して取り組む**

がいこく はたら かいしゃ ひと こくさいかつどう だんたい ひと ちいき がっこう こくさいこうりゅう たぶんかきょうせい 外国で働いたことのある会社の人や、国際活動をする団体の人が、地域や学校で国際交流や多文化共生の活動に参加できるようにします。地域の国際交流協会や外国人の団体、会社とも協力して取り組みます。

**<取り組み>**

- 25 外国の人がまちの活動に参加しやすくする
- 26 グローカル人材※が活躍できる場を増やす
- 27 外国の人の団体を助ける
- 28 外国の人の団体と一緒に活動する
- 29 国際交流協会ともっと協力する
- 30 会社などと一緒に活動する



※グローカル人材…「グローバル (global、世界)」と「ローカル (local、地域)」を掛け合わせて作った言葉。

すうじ もくひょう **数字の目標** <2022年→2033年>

- 地域に暮らすコミュニティの一員として役に立ちたいと「とても思う」と回答した外国人市民の割合：23.0%→**30.0%**

## けいかく すす かつ ＜計画の進め方＞

- 市内のいろいろな団体や企業、学校と協力して進めます。
- 国や他の地域とも連携して、情報を共有します。
- 重要なプロジェクトを特に力を入れて進めます。



## とく つよ とく ＜特に強くすすめる取り組み＞

### がいく ひと ことば ひろ ① 外国の人にわかる言葉を広げるプロジェクト

- 市の職員や市の人々にわかりやすい日本語を広めます。
- 生活を助ける市の窓口で、相談しやすいように整えたり、外国の人に配慮します。



### ちいき ひと いっしょ とく ② 地域の人たちと一緒に取り組むプロジェクト

- モデル地区（一ツ木・小垣江地域）での支援を続け、他の地域にも広がります。



### がいく ひと だんたい いっしょ とく ③ 外国の人の団体と一緒に取り組むプロジェクト

- 外国の市民への情報を出しやすくし、外国の市民の意見を聞けるようにします。
- 同じ国の人が生活の相談や困ったことを解決するために動けるようにします。



### かんけい だんたい きょうりょく かりや とく ひろ つか ④ 関係する団体との協力と刈谷の取り組みを広く伝えるプロジェクト

- 刈谷市国際交流協会と協力して事業を進め、会社ともつながりを作ります。
- 本市のすばらしい取り組みをまとめ、色々な方法で情報を伝えます。



## だい じ かりやし たぶん かきょうせい すいしん けいかく がいようばん 第2次刈谷市多文化共生推進計画【概要版】

はつ こう れいわ ねん がつ  
発行 令和6(2024)年3月

はつこうしゃ かりやし へんしゅう しみんかつどうぶ しみんきょうどうか  
発行者 刈谷市／編集：市民活動部 市民協働課

〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地

TEL：0566-95-0002（ダイヤルイン） Mail：[kyodo@city.kariya.lg.jp](mailto:kyodo@city.kariya.lg.jp)

くわ けいかく ないよう つぎ よ と み にほんご  
詳しい計画の内容は、次のQRコード※を読み取って見てください（すべて日本語です）。

※ QRコードは、デンソーウェブの登録商標です。

